第３回定例会

・決算審査特別委員会①

令和４年度各会計 決算を徹底審議！

決算審査特別委員会 質疑の中から

決算審査特別委員会 ９月13日・14日

令和５年９月13日開催の第３回定例会において、令和４年度一般会計及び６つの各特別会計の決算が提案され、議長及び議会選出の監査委員（山内議員）を除く７名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託して審査することを決めました。

９月13日に開催した特別委員会では委員長に但木議員、副委員長に三田議員を選任し、14日開催の特別委員会において審議を行った結果、全会一致で決算を認定すべきと決定し、特別委員会を閉会しました。

翌日９月15日開催の定例会本会議において、但木委員長から決算を認定すべきとの委員長報告が行われ、その後の採決で、全会一致で決算認定の議決を行いました。

９月14日に開催された決算審査特別委員会の質疑についてお届けします。

なお、紙面の都合上、質問と答弁は要約しています。

ふるさと納税

高橋　本町へのふるさと納税者の地域別割合は分かりますか。

企画財政課長　令和４年度実績では、関東地方の方が一番多く49・５％、近畿地方16・９％、中部地方12・６％、北海道７・４％、九州地方６・０％となっています。

ヤングケアラー

三田　本町では、ヤングケアラーの相談を受けたり、そのような事例があるといった把握はされていますか。

保健福祉課長　民生委員や保健師など、それぞれ担当地区を持っており、逐一様々な情報を受ける体制であり、教育サイドとも連携を密にしていると思います。

「ヤングケアラー」
本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。

教育長　学校を通じて、そのような子どもがいるかを確認したところ、現時点ではいません。

また、各学校にスクールカウンセラーを派遣し、申込みのあった保護者や児童・生徒と随時カウンセリングを行っており、その内容を共有してもいいと本人確認が取れた場合は、保健福祉課と共有する形で進めています。

令和４年度決算状況

区　分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一般会計	68億 341万円	59億6,694万円	57億6,967万円	1億9,727万円
簡易水道特別会計	4億6,664万円	4億2,431万円	3億3,410万円	9,021万円
国民健康保険特別会計	7億3,286万円	7億3,847万円	7億2,894万円	953万円
公共下水道特別会計	3億3,441万円	2億4,987万円	2億3,090万円	1,897万円
介護保険特別会計	5億2,487万円	5億3,558万円	4億9,644万円	3,914万円
介護サービス事業特別会計	2億5,361万円	2億6,134万円	2億4,958万円	1,176万円
後期高齢者医療特別会計	9,536万円	9,607万円	9,471万円	136万円
合　計	92億1,116万円	82億7,258万円	79億 434万円	3億6,824万円

第３回定例会

・決算審査特別委員会②

商工業活性化事業補助金

高橋　町内店舗の改修等を行う商工業者に対する支援制度の利用実績を伺います。

経済課長　令和４年度全体で９件、1242万円を助成し、このうち建物等の新築・増築に対するものが２件、機械設備・車両等に関するものが７件となっています。

住宅建設促進事業費補助金

高橋　同じく、町内業者を利用した住宅の新築等に対する支援制度の利用実績を伺います。

経済課長　全てが住宅改修分で25件、465万7000円を助成しています。

学力向上推進委員会

高橋　学力向上に向けた取り組みとして、町内教職員で組織する「学力向上推進委員会」を開催したとありますが、この構成メンバーと昨年度の開催実績を伺います。

教育長　構成として、校長は全小中学校から１名、教頭は３小学校から１名と中学校１名、教諭は各学校から１名ずつの計７名で、そこに教育委員会から管理課長と学校教育係長も出席し、昨年度は４回開催しました。

町内各団体への補助金交付

高橋　町内の様々な団体へ各種補助金を交付していますが、それら団体から最終的な決算報告書を受けていますか。

企画財政課長　各団体より収支報告を頂いています。

要介護認定者への介護サービスの提供

三田　在宅サービスを受けている要介護度の高い方が増えていますが、その方たちは特別養護老人ホームに入所希望されている待機者なのか、自宅での介護サービスで現状問題のない方なのか、その辺の把握はされているのでしょうか。

保健福祉課参事　在宅の区分としては、自宅のみではなく、病院や認知症のグループホーム、有料老人ホームなど、自宅を含め介護保険施設ではない所であり、その在宅で介護サービスを受けている方の中には特養への入所待機者もいます。

三田　では、特養に入所希望されている待機者は何名ほどいるのでしょうか。

特養園長　昨年度の入所待機者について、各月の１日現在を平均すると、在宅待機者4・3名、病院待機者7・3名、グループホームや有料老人ホームといった他施設待機者4・3名の合計15・9名で、月平均で約16名の方が待機されている状況でした。

その他、要介護度の高い方でも、現状自宅での在宅サービスや家族の介護が可能であり、それらが難しくなれば入所したいという方もいます。

決算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

令和４年度の財政状況等については、財政健全化判断比率及び資金不足比率の数値からも、第５期総合計画と第２期地方創生総合戦略を見据え、重点プロジェクトの実行に努めながら、国・道の補助制度の積極的活用や交付税措置が見込まれる起債発行などの財源確保とバランスの取れた行財政運営が図られ、健全な状態であると判断します。

人口減少の課題と地方創生が叫ばれている中、地方自治体を取り巻く環境は、財政・医療福祉面などにおいて益々地域格差が拡大し、依然として厳しい状況ですが、町民生活の安全安心の向上や活力ある地域づくりに向けた財政需要等に適切に対応するため、町民ニーズを的確に把握し、コスト意識を持ち、安定した財政基盤の確立を図るべく、行財政運営に努めることを望みます。